

◆ “ふるさとちば”のための政策推進を◆



発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

県政から山武市の元気な明日を築く

早くも登壇 医療センターを要望

山武市特集・6月県議会一般質問

県政から『新生・山武市の元気な明日を築きたい』と決意し町長を辞して立候補、今春に初当選を果たした松下浩明（まつした・ひろあき）県議（46歳）は、「当選は支持してくれた多くの市民の力であり、皆様の声や要望を県政で生かす」と地域のために早くも活動を展開しています。

6月県議会では1期議員の先陣を切って一般質問に登壇。「九十九里地域医療センター病院計画」や「JR総武本線の複線化」といった山武地域の要望を強く提言したほか、「環境学習基本方針の取り組み」「公立学校の耐震対策」「校舎から生徒の転落事故増加」などの教育問題や市町村2次合併を質疑、県の姿勢を質しました。1、2面で質疑を特集します。

地域 医療 医師確保 へ

県内の地域医療体制は、医師・看護師不足で深刻な状況であり、こうした時に病院運営にも県がしっかりとその役割を果たすことが、地域医療の充実につながる。山武地域は県立東金病院に患者が集中、勤務医の過酷な業務等により、成東病院の内科医9人が辞め、山武地域の医療は崩壊しています。

健康福祉部長 成東病院では、常勤医師の不足により、地域の中核病院としての医療提供機能に支障が生じています。今年度新たな医師確保事業として①ベテラン医師を県外から招聘する市町村への補助制度②知事が指定する自治体病院で勤務を前提とした医学生、臨床研修医への貸付制度を実施します。

【要望】 松下 九十九里地域医療センター病院計画で一番大切なのは医師の確保です。医師の確保ができる方をお願いし、センター長に推薦し医師確保ができる体制をつくっていただき、県の支援を入れて早く数字



6月県議会で初めて一般質問に立った松下浩明県議

他地域への救急車の搬送が急増、受け入れ病院を探す時間がかかり、山武地域は医療過疎地で深刻な問題になっています。そして九十九里地域医療センター計画が山武郡市行政組合を軸として協議がなされている所であります。検証をして、出来るという前提がなければ市町の各議会に諮れません。山武市は現在の350床の病院を手放すのですから心配もあります。そしてとにかく成東病院の医師確保を早期にお願いし、赤字の縮減ができることをお願いします。

松下 国保成東病院の再生と充実が図られるよう県も協力すべきと考えるがどうか。 健康福祉部長 3月12日 山武郡市の全市町長が知事と面談し、自治体の考え方をまとめた報告と県支援を求める要望書の提出がありました。医療センター計画が早期に実現することが重要と考えています。病院作りへ向けた包括的な支援を行ふとともに、医師確保や医療の集約化など医療センターができるまでの地域医療の確保を行って行きたい。

長生都市との連携 も視野に意見交換

山武郡市六市町長と長生郡市七市町村長は七月一日、「九十九里地域医療センター計画」について意見交換を行いました。具体的な連携について今後も協議することを申し合わせました。

硫酸ピッチ生成禁止条例で意見

松下県議は6月県議会環境生活警察常任委員会で硫酸ピッチの生成を禁止する条例について、意見を述べました。

同委員会では松下県議の意見を受け、県から「硫酸ピッチは県内に1429本、本年度中に撤去」との答弁がありました。

- 硫酸ピッチを製造しようとする者はいない、不正軽油を製造する過程で生成される副産物である。したがって、本来、不正軽油の製造を監視、禁止することが本筋であると考えます。
- 現状に施行しても、千葉市と船橋市が対象となり全県に網がかけられない、両市とも連携を図り、対象を全県にしなければ意味がない。
- 千葉県だけの生成を禁止する条例では、県外からの持ち込みに対する無力であり、他の都道府県、特に、近隣都県とも充分な連携が必要であると考えます。

千葉県・山武市についてのご意見、ご要望をおきかせください。

松下ひろあき 事務所 TEL 0475(89)0718
ホームページ <http://www.hiroaki-m.net/>

誠実、着実 県政活動第一歩 松下ひろあき 県議

山武市特集・6月県議会一般質問



早期に成東病院の医師確保を

JR総武本線の早期複線化を
実現するための取り組みについて

JR総武本線は、山武市では日向、成東、松尾と3つの駅を利用し通勤、通学、ショッピング、レジャーなど利便性向上の願いは強いものがあります。地域住民の願いは早期複線化ですが、少しでも時間短縮対策として、快速電車の増発や佐倉から銚子間すべての駅

【要望】 松下 沿線の自治体がJRへ要望する際は、県も間に入り実現の方向性を見出させていただきたい。

これまでどのような活動を行ってきたところです。

昨年度も複線化の要望と

ともに快速列車の運行区間

の延伸や普通列車の増発・

車両の編成増強などの要望

で一線スル化（特に佐倉→成東間）などを進めて行くべきと考えています。

松下 JR総武本線の複線化等をJRに積極的に働きかけるべきと思うが、県はこれまでどのような活動を行ってきたところです。

これまでどのような活動を行

してきたのか。また今後ど

うように働きかけをしてい

くのか。

総合企画部長 佐倉一銚子

間の複線化を含めた輸送改善については、従来から県と沿線市町村等で組織する

「千葉県JR線複線化等早

期期成同盟」を通じ、JR

東日本に対し要望活動を行

つてきました。

これまでどのような活動を行

してきたのか。また今後ど

うように働きかけをしてい

くのか。

これまでどのような活動を行

してきたのか。また今後ど

うのように働きかけをしてい

くのか